


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2020年4月号

【特集】支えあい、助けあいによる
地域共生社会の実現に向けて…2～3

ファミリー・サポート・センター……………	4
にこにこ浜っ子クラブ……………	4
大船渡支えあい福祉活動助成事業募集……………	5
今年度のニューフェイスを紹介します……………	5
お知らせ……………	6～7
輝き人……………	8



今月の表紙

むら かみ やす たか み き
村上康隆さん・未来さん
れむ ゆら もえ
蓮夢くん・夢咲ちゃん・萌咲ちゃん
(11歳) (7歳) (5歳)
東 しずこ
静子さん

支えあい、助けあいによる 地域共生社会の実現に向けて

～令和2年度事業計画・予算～



●令和2年度事業計画・予算

東日本大震災から10年目を迎え、被災した世帯は仮設住宅など一時的な住まいから恒久住宅へ移行し、住まいに関する課題はほぼ解消されつつあります。しかし、新たな環境での生活においては、近隣住民との関係性の構築や環境に馴染めず、孤立、引きこもり状態の住民が増えるなど、新たな課題が生じています。

さらには、高齢世帯や核家族の増加など家族構成の多様化により抱える生活課題も多様化、複雑化し、加えて多世代世帯の減少などにより、生活課題の自己解決機能の低下が見受けられるとともに、地域における人の繋がりが弱くなり、かつて存在した地域の支えあいの機能も失われつつあります。

このような背景のもと、誰もが安心して暮らし続けることができるよう、住民同士が支えあい、助けあう意識の醸成、また個人や地域の課題や困りごとを、住民自らが公的な福祉サービスの活用と併せて解決を図る地域共生社会の実現が求められています。

この実現に向けた大船渡市社会福祉協議会の令和2年度の事業計画案及び予算案は、理事会の同意を得、新型コロナウイルス感染拡大防

止のため評議員会を開催せず、評議員による書面決議により、原案通り承認されました。

【重点取組】

1 支えあいまちづくりの推進

困りごとを抱えていても、住民同士が支えあい、助けあい、孤立することなく誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを、行政、関係機関と協働・連携により推進します。

- ① 地域助け合い協議会との協働・連携

- ② 被災者世帯、一人暮らし高齢者世帯等への訪問、相談対応

- ③ 支え合いマップ作りの取組回数・地域の拡大

- ④ 地域住民福祉活動への運営支援（活動費助成）

2 生活困窮者に対する各種自立支援事業の実施

生活困窮状態にある人の相談に応じ、家計の見直し、就労支援など、自立に向けた計画的な生活スタイルの立て直しを図ります。

- ① 相談窓口の設置・専門職員の配置

- ② 家計・生活リズムの改善に向けた支援

- ③ 一般企業と連携した就労支援

3 子育て支援事業の推進

子育てに関する情報提供、専門職員による相談や研修、利用者同士の交流等を通して、子育てにかかる親の心身負担の軽減、解消を図り、安心して子育てができるよう支援します。

- ① 専門相談職員の配置

- ② 子育て支援に関する情報発信

- ③ 子育て中の親、妊婦同士での交流の場の提供

- ④ 子どもの一時預かりに対するマッチング調整

4 多法人との連携強化

市内の社会福祉法人との情報交換や法人運営上の共通課題、地域課題の共有を図り、課題解決や地域公益活動のあり方について検討する機会を設けます。

5 成年後見制度の利用促進に向けた取組の強化（新規）

大船渡市における成年後見制度の利用が促進されるよう制度の理解、普及に繋げる取組を推進します。

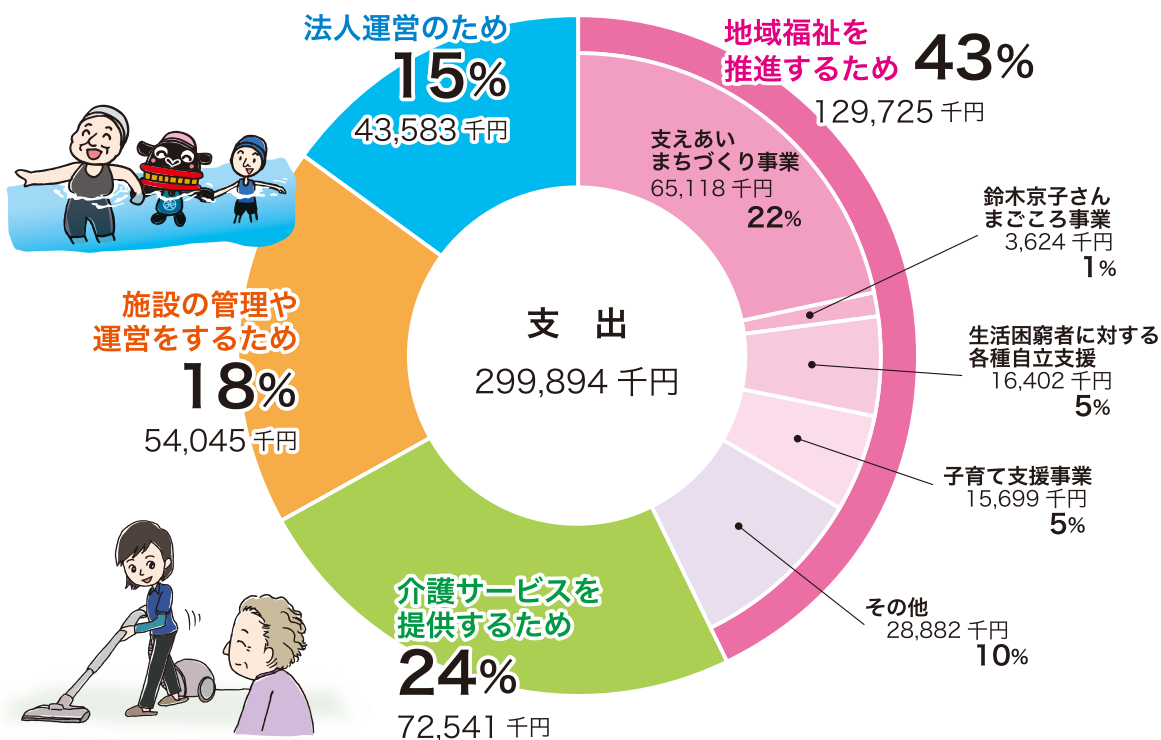
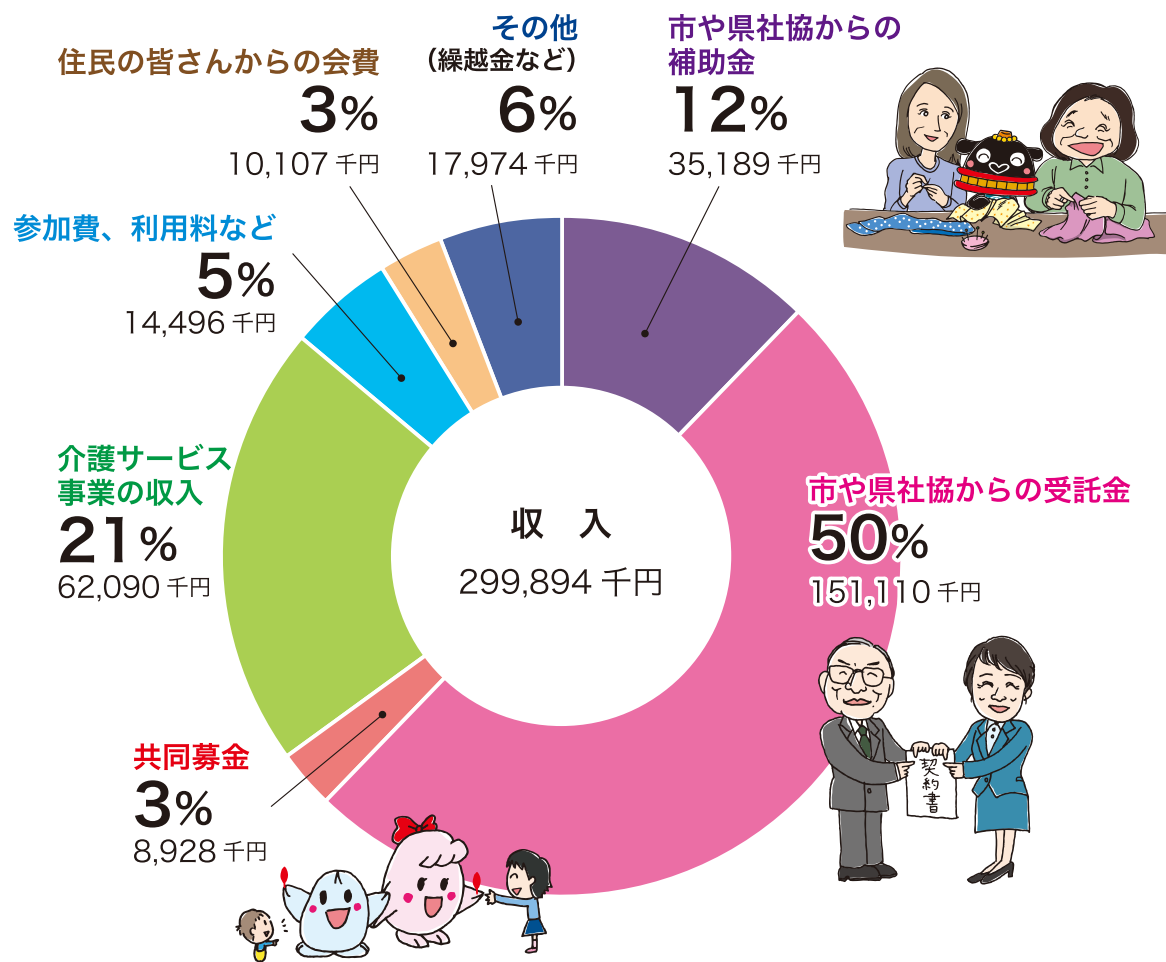
- ① 成年後見センター事業の開設

- ② 相談窓口の設置

- ③ 制度普及に向けた啓発活動

- ④ 制度利用に関する相談・申立支援

令和2年度予算



地域で子育てを応援

ファミリー・サポート・センター

社会福祉協議会では、0歳から小学校6年生までの子どもを持つ家庭を対象に、「ファミリー・サポート・センター（以下ファミサポ）」事業を実施しています。

ファミサポは、外出や通院、仕事などにより子どもを一時的に預かって欲しい時や、下校後に習い事へ通うための送迎などに対し、あずかり会員が援助活動を行います。

利用には事前登録（無料）が



本当のおばあちゃんと遊んでいるかのように、爽誠くんは阿部さんになつていました

必要で、利用料は1時間500円（平日午後7時～午後9時、土日・祝祭日は600円）。

あずかり会員は事前に講習を受講しているのので、安心して預けることができます。

あずかり会員歴11年の阿部光子さんは、「離れて暮らす両親共稼ぎの孫から『子どもの頃はかぎっ子で寂しかった』と聞かされた。孫の言葉からあずかり会員として活動することを決めた」と話します。

この日、阿部さんの自宅で援助を受けたのは大江爽誠くん。阿部さんの援助は今回3回目、笑顔で茶の間と座敷を元気に行き来しながら遊んでいました。

お母さんの由梨さんは、「我が家は転勤族なので、第2のおばあちゃんに預ける気持ち。様々な人と関わることで、子どもの社会性も育まれるのでありがたい」と話していました。

おねがい会員、あずかり会員ともに随時募集していますので、お気軽にご連絡ください。

休校・春休み期間中の児童の受け皿 放課後児童クラブ （にっこにっこ浜っ子クラブ）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、教育機関が休校となった中、働くお父さん、お母さんが安心して仕事へ行けるよう、児童の受け皿となったのが「放課後児童クラブ（学童）」です。

普段以上に念入りな消毒、児童への手洗いの徹底、室内は裸足禁止にするなど、細心の注意を払いながら開所しています。そのうち、赤崎小学校の隣にある「にっこにっこ浜っ子クラブ」では、この春新たに指導員が加わりました。



頼れるお兄さんのような存在で、子供たちの気持ちに寄り添っています

熊上宙準さん（20歳）は、にっこにっこ浜っ子クラブの1期生。専門学校を卒業後、地元へ恩返しをしたいという思いでUターンしました。

「子供たちのエネルギーに逆に元気をもらっている。子供の気持ちに寄り添うことは、時に難しいと感じる時もあるが、やりがいにつながっている」と話してくれました。今後は専門学校で勉強してきた技術を生かし、子供たちに身体を動かす楽しさを伝えていきたいそうです。

指導員の久保田涼子さんは、「ここを巣立った子が大きくなり戻ってきてくれたことが嬉しい。時にはOB、OGが学童へ手伝いに来てくれるので、これからは気軽に立ち寄ってくれる場所でありたい」と話します。

また、「今の状況がいつまで続くかわからないが、子供たちには楽しく過ごしてもらい、保護者には安心して仕事ができる環境を心がけて行きたい」と話してくれました。

住民の支えあい活動を応援するために 大船渡支えあい福祉活動助成事業



助成金を使いながら充実した活動を展開しています

社会福祉協議会では、昨年度、地域で積極的にサロン活動をしている団体を応援するため、活動費として最大5万円を助成する「大船渡支えあい地域サロン助成事業」を行いました。14団体がこの助成金を活用し、サロンを始めるための準備や普段できない活動に取り組むなど有意義に活用されました。今年度は、サロン活動に限定せず、コミュニティ食堂や移送・外出支援など広く住民生活を支援する福祉活動に対し助成

することとしています。

また、通常の助成金では認められない飲食費も経費対象となっています。この助成金を活用することで、多くの団体が充実した活動を行うきっかけとなることを願っています。

○対象団体

① 大船渡市内で定期的に福祉活動を実施している団体、もしくは実施を考えている団体

② 他の公的助成を受けていない団体

○助成金額

総事業費の20%以上かつ90%以内で5万円を上限

○助成対象となる経費

消耗品費、飲食費、通信費、燃料費、賃借料など

○その他

申請団体多数の場合、新規申請団体を優先

○応募方法

申請書など各種書類に必要事項を記載し申請（ホームページからダウンロード可）

○応募期間

4月21日（火）～5月22日（金）

令和2年度 今年度のニューフェイスを紹介します



チャームポイントは笑顔です

社会福祉協議会では今年度、新たに4名の職員を採用しました。今回は、生活福祉課に配属となった和泉智也を紹介します。

Q 出身地は？

A 大船渡市大船渡町です。

Q 趣味・特技は？

A カメラが趣味で子どもが遊んでいる写真を撮るのが好きです。特技は座布団回しです。

Q 社協で働こうと思ったきっかけは？

A 一人でも多くの人に笑顔で楽しく生活してもらい、大船渡

が笑顔であふれる街にしたいと思いい社協で働きたいと思いました。

Q 仕事内容は？

A 生活の困りごとや不安を抱えている人に対する相談支援を担当させていただきます。

Q 抱負を教えてください。

A 一日でも早く仕事を覚え、皆さんの生活のサポートをしていくためにも日々努力して頑張りますのでよろしく願います。

*新規採用職員

○生活福祉課主事補 和泉智也

○総務課事務職員 松竹照子

○プール監視員 新沼 誠

○生活支援員 宮崎秀賢

このほか、理事14名、監事2名、評議員35名、職員79名で、「地域に頼られる社協」を目指し、事業を推進していきますので、今年度もよろしく願います。

申込・問い合わせ先
岩手県福祉人材センター 坂本さん
電話 080-8201-0200

鯉のぼり子どものつどい中止について

例年5月5日のこどもの日に開催している「鯉のぼり子どものつどい」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止となりました。

* 就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

日時 毎週木曜日
午後1時30分～午後3時30分

場所 大船渡市Y・Sセンター

内容 卓球、スポーツ吹矢ほか

持ち物 上靴（動きやすい服装で参加してください）

* 生活福祉資金貸付事業情報

生活福祉資金特例貸付の実施

新型コロナウイルスの影響を受け、失業、休業などにより収入が減少し、生活に困窮している世帯に対する貸付を3月25日（水）より実施しています。

なお、本資金は貸付金のため償還（返済）していただく必要があります。

資金種類 (1) 緊急小口資金
(2) 総合支援資金（生活支援費）
貸付限度額 (1) 1世帯1回限り10万円以内
※状況により20万円以内
(2) (単身)月15万円以内
(2人以上)月20万円以内

据置期間 貸付日より1年以内

償還期間 (1) 据置期間後2年以内
(2) 据置期間後10年以内

貸付利子 無利子
※償還期限後は延滞利子がかかります。

必要なもの (1) 本人確認書類（住民票、健康保険証、運転免許証など）
(2) 印鑑
(3) 本人の預金通帳、キャッシュカード
(4) 新型コロナウイルスの影響を受けたことが確認できる書類（給与明細、通帳など）

* その他

寄付・寄贈物品受入（3月）（敬称略）

復興支援金 柴田桂子
共同募金 岩手県立大船渡東高等学校

「募集」「イベント」
「お知らせ」など
暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ

令和2年5月

申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる可能性があります。

* 子育て支援事業情報

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

つどいの広場イベント日程（5月）

開催日	内容	時間
7日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～正午 午後1時～午後4時
14日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時30分～正午
21日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後4時
	ハローワーク 出張おしごと相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
28日(木)	かすみの栄養相談会	午前10時30分～正午

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日 午前10時～午後3時
場所 おおふなぼーと2階和室
※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、5月20日（水）（午前10時～正午）に開催します。

* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

介護のしごと相談日程（5月）

開催日	場所	時間
11日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
12日(火)	おおふなぼーと	午前10時～午後3時
14日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
21日(木)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
28日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

職員募集

令和3年4月1日採用予定の職員採用試験を次のとおり実施します。

【募集職種及び予定人員】 一般事務職員 1名

【応募資格】 昭和60年4月2日～平成15年4月1日までに生まれた人

【試験日時】 (一次試験) 令和2年6月28日(日) 午前9時

(二次試験) 令和2年8月9日(日) 時間は個別に通知

※一次試験合格者のみ

【試験会場】 大船渡市Y・Sセンター

受験申込書・受験票交付

(次の3つの方法から選択してください。)

・**直接交付** 場所：大船渡市社会福祉協議会事務局(立根町字下欠125-12)

・**郵送による交付**

封筒の表に「試験請求」と朱書きし、94円分の切手を貼った返信用封筒を同封の上、大船渡市社会福祉協議会事務局へ請求する

・**大船渡市社会福祉協議会ホームページからダウンロードする**

申込方法 受験申込書及び受験票に必要事項を記入し、大船渡市社会福祉協議会事務局へ提出

受付期間 令和2年4月27日(月)～6月15日(月) ※郵送での受付は、同日午後5時15分まで

受付時間 午前8時30分～午後5時15分 (土日・祝日を除く)

その他 実施要項は受験申込書等を交付する際に配布するほか、本会ホームページに掲載します

照会先 大船渡市社会福祉協議会(総務課：石橋)

*共同募金情報

2020年度

「被災地住民支えあい活動助成」募集

被災地のために活動するグループやNPO法人への支援金として、活動助成を行います。

対象団体 岩手県民5人以上で構成されている次の活動を行う非営利団体

- (1) 孤立を防ぐ活動
- (2) 日常生活を支える活動
- (3) コミュニティ再生のための活動

助成金額 (1) おおむね3ヶ月間以上の活動 総事業の90%以内で27万円まで

(2) 1日1回限りの活動 総事業の90%以内で9万円まで

助成対象経費 消耗品、弁当・茶菓子代、交通費、講師謝金など

※経費には限度額があります。

対象とならない経費があります。

提出書類 (1) 応募書

(2) 会員名簿(役員名簿でも可)

(3) 会則・規則(又は準じるもの)

(4) 応募書団体の活動内容がわかる書類

(5) 通帳の写し(よみがなが記載されているページ)

応募期間 ① 4月1日(水)～24日(金)

② 5月7日(木)～29日(金)

③ 6月1日(月)～22日(月)

④ 7月1日(水)～8月28日(金)

⑤ 9月1日(火)～10月23日(金)

⑥ 11月2日(月)～12月18日(金)

その他 審査に1ヶ月程度要します。

申込・問い合わせ先

大船渡市共同募金委員会 電話 0192-27-0001

今月の表紙

村上康隆さん

未来さん

蓮夢くん(11歳)

夢咲ちゃん(7歳)

萌咲ちゃん(5歳)

東静子さん

(赤崎町在住)

毎日のように行き来している仲よし家族。「3人のひ孫たちから元気ももらって91歳まで病気にせず畑仕事などしてきました」と話す静子さん。新型コロナウイルスの影響で、外で遊ばせてあげられないのがかわいそうとのこと。

我が家のまるまる

我が家の「コレクション」

盛町 ペンネーム はるるんさん

5歳の娘が一人でこつこつ作り溜めたプチブロックの作品です。全部で45個!!

ばばばっ!

こんなにたくさん!!
とてもうまく
つくったね!!



写真募集!

投稿方法は3つからお選びください

① 写真データをメールする

ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付

② 写真を郵送する

〒022-0002

立根町字下欠125-12 「Y・Sセンター」内
大船渡市社会福祉協議会「我が家の○○」係

③ 本会に直接写真を届ける

①～③ 共通

・一言説明コメント

・名前(ペンネーム可)

・住所(町までで可)を
必ず添えてください。

次号締め切り
5月1日(金)

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください



輝き人

た だ く み こ
多 田 久美子さん (44 歳)

立根町在住。平成18年4月よりJAおおふなと介護センター勤務。デイサービスの生活相談員を経て、介護支援専門員（ケアマネジャー）として利用者の安心した生活を実現するため、日々奔走する。

利用者の幸せ、家族の幸せのために

○小学校時代の先生のように

小学生の頃は物静かな生徒で、担任の先生の助けをもらいながら小学校生活を送ってきました。自分のために頑張ってくれる先生を見て、将来は先生のように人の役に立つ、感謝される仕事に就きたいと感じていました。

実際、福祉の道に進もうと決めたのは高校生の頃。卒業後の進路を考えていた時に、介護の仕事を知り、介護を通じて小学生の頃の思いを叶えようと福祉の専門学校へ進学し、卒業後、介護福祉士として働き始めました。その後、キャリアアップのためにケアマネジャーの資格を取得し、現在に至ります。

○ケアマネジャーの仕事

ケアマネジャーは、介護が必要となつている人の介護計画作成や介護サービスの管理・調整をする職業です。利用者宅への

訪問やサービス利用時の状況確認、介護サービス事業所や医療機関との会議、要介護度の調査などの業務をこなしながら、事務作業を行い、一日が過ぎていきます。現在、37人の利用者を担当しています。

○利用者か家族か

利用者との関わりはもちろん、その家族との関わりで悩む場面も少なくありません。利用者の希望と家族の希望が違う場面も多く、その場合、どちらを優先するか、どう折り合いをつけるか葛藤の連続です。

未婚の50代の子が80代の親を介護している家庭を担当したときには、子は一所懸命親の介護をしている一方で、親は子には介護をさせたくないんだと訴える状況もありました。利用者だけでなく、家族全体を見ていかなければいけないと感じさせら

れました。

○利用者の人生に触れる仕事

悩みや葛藤も多い職業ではありませんが、一方で、利用者の変わっていく姿を肌で感じる事ができる数少ない職業であり、そこがやりがいでもあります。

当初、サービス利用を拒否していた人が、利用してよかったと感謝してくれたり、リハビリテーションのサービスを利用して、以前より身体の状態が良くなり、喜んでいる姿をみる事が私の喜びです。

時には、手すり一つ設置しただけで利用者、家族に喜ばれたこともあり、それが次の仕事へのモチベーションになります。

職場の先輩から、ケアマネジャーとして関わる事ができるのは、縁だと言われたことがあります。数年、数ヶ月でもその人の人生に関わることができると、出会えたことをかけがえないことだと感じ、これからも利用者がその人らしく生活できるように頑張っていきたいと思います。

